

播磨町教育講演会開催

8月19日(金)中央公民館において播磨町教育講演会が開催されました。第1部は前加古川市教育長 松本毅先生に「いま、教職員に求められるもの」、第2部はシンガーソングライターでアートセラピストのマリア味記子先生に「やさしさをあなたに ―色は心の栄養素―」と題して、町内約170人の教職員を前に3時間のご講演をいただきました。

「いま、教職員に求められるもの」
松本 毅 先生



松本毅 先生

私は教育長になるまでは、まったく教育の経験がありませんでした。そのため、要請があつてから就任するまで、本当に勉強しました。あらゆる教育書を読み、著名人の評論を読みました。そこで大切だと感じたことは、やはり、時代の変化への対応です。時代の変化に伴い、人々の心も大きく変わって来ましたが、先生方も、変化に敏感でなくてはなりません。時代の変化をしっかりと受け止めないと、子どもと目線を同じにして語り合うことができません。その後ろにいる保護者と心を開いて語り合うことができません。

今から、時代の変化・教育の変化について考えたいと思います。

これまで学校教育は、知識の習得に重きを置いてきましたが、これからは知識を知恵に変えて生活の場に生かせる教育、すなわち、知性を培う教育が大切になります。

さらに、知性だけでなく、感性を培うことが大切です。時代の流れの中で総合的な学習の時間、トライやるウィークや自然学校が出来たのも、社会体験、自然体験、生活体験等を通して、自らが感性を高めていくためです。知性と感性のバランスが取れたとき、人間はしっかりと生きていくことができるのです。

次に、学力低下が叫ばれていますが、確かに子どもたちの、判断力や表現力は低下していると思います。特に、「コミュニケーション能力が十分身につけていません。また、日本の子どもは「勉強が好きだ」という思いが、外国の子どもと比較して低い。さらに、家庭での学習時間が全体的に少ない。それは、学習習慣がついていないということだと思います。

子どもの学びは、学校で学んだことが生活の場で生かされていることを実際に体験したとき高まるのです。また、本を読ませることも大切です。多くの本を読み感動する体験が必要です。

先生方の熱意と計画的な指導が子ども心を動かすのではないのでしょうか。

最後に、いま、企業が求めている学力についてお話しします。

- 第1の学力 いわゆる一般的に数値で表される学力
 - 第2の学力 読む力、発見する力、判断力、論理的思考など
 - 第3の学力 知的好奇心、企画力、討論をする力など
- この第3の学力が企業の求めているもの



児童が創意工夫した出店、煮物、ポン菓子、もちつき、お楽しみコーナーなど

11月は「兵庫の教育推進月間」です

兵庫県では、「トライやる・ウィーク」や「いきいき学校応援団」、「スポーツクラブ21」など、県民が主体となった教育活動を展開しています。平成15年7月に「兵庫の教育改革プログラム」を策定し、副題「県民すべてがかかわる兵庫の教育をめざして」の通り、県民の参画と協働による教育に取り組んでいます。

そこで、子どもたちの教育への県民の関心と理解を一層高めるために、11月を「兵庫の教育推進月間」と設定します。播磨町でもこのような趣旨に沿って、各学校園で以下のような取り組みを行います。

- 1日(火)〔播磨中〕 合唱コンクール(午前9時30分～正午) 学級ごとに合唱を発表する
- 1日(火)〔播磨幼〕 講演会と保育参観(午前9時15分～11時30分)
演題「育てよう豊かな心と健康なからだ」
講師 兵庫県野外レクリエーション指導者協議会事務局長 栗木剛 氏
- 1日(火)〔蓮池幼〕 老人クラブ交流会(午前10時～11時30分)
年長児と老人クラブの方との交流会
- 2日(水)〔播磨中〕 文化祭(午前9時～12時30分) 合唱、吹奏楽部の演奏、文化部展示発表など
- 2日(水)〔播磨南中〕 文化祭(午前9時～) 合唱、文化部の発表。
- 3日(木)〔播磨北小〕 北小フェスティバル(午前9時～午後3時)
ステージ発表とイベントやサーキット(合唱、合奏、劇、児童が創意工夫した出店、煮物、ポン菓子、もちつき、お楽しみコーナーなど)
- 11日(金)〔播磨西幼〕 講演会と保育参観(午前9時～11時30分)
演題「今、子育ての大切なこと」
講師 神戸大学教授 佐藤眞子 先生
- 12日(土)〔播磨南中〕 多文化共生フェスティバル 講演会(異文化理解)
- 12日(土)〔播磨小〕 音楽会(午前10時～正午) 各学年の音楽学習発表会
- 12日(土)〔播磨西小〕 音楽会(午前9時30分～正午) 各学年別による合奏と合唱
- 12日(土)〔播磨南小〕 校内音楽会(午前9時30分～正午)
各学年および音楽サークルによる合唱と合奏。古宮獅子舞。
- 15日(火)〔播磨町全幼稚園〕
幼稚園ウィーク in はりま(午前9時～正午)
各幼稚園からクリーン作戦を実施しながら播磨中まで行く。
その後体育館で交流。
- 19日(土)〔播磨中〕 授業参観など(午前9時～) 授業参観、校内見学
- 20日(日)〔蓮池幼〕 野添コミセン祭り(午前10時～正午) コミセン祭りに合唱で参加
- 25日(金)〔蓮池小〕 道徳研究発表会 学校・家庭・地域社会の連携をテーマとした研究発表会
- 28日(月)〔播磨西小〕 創立30周年記念会・観劇鑑賞会(午前11時)
創立30周年記念事業の一つとしてピッコロ劇団による演劇鑑賞会

(注) 上記は9月末現在の予定ですので変更の可能性があります。
日程および詳しい内容については各学校園にお問い合わせください。

- 播磨小学校 ☎0794(37)9849
- 蓮池小学校 ☎078(943)2211
- 播磨西小学校 ☎0794(35)3264
- 播磨北小学校 ☎0794(35)2677
- 播磨南小学校 ☎078(942)0730
- 播磨中学校 ☎0794(37)8147
- 播磨南中学校 ☎078(943)6622
- 播磨幼稚園 ☎0794(37)0729
- 蓮池幼稚園 ☎078(942)8328
- 播磨西幼稚園 ☎0794(35)3265

「やさしさを、あなたに」
―色は心の栄養素―

マリア 味記子 先生



マリア味記子 先生

「あなたの、心の換気扇はどこでしょうか。何らかの刺激を受けて心は健康になります。心が健康でないと、子どもと落ち着いて向き合えませんよ」

「今日は心の健康・芸術療法に参加しながら研修していきましょ」という言葉で始まりました。

マリア先生とは、音楽や色を塗ることに参加しながら、手話の練習やいじめについて考えるなど、人権教育の根幹にも触れながら、楽しく研修を進めていきました。

で、これからの学校教育にも求められるのではないのでしょうか。
(紙面の関係上一部抜粋)

教育のページ

たくさんの出会いがあった自然学校

播磨南小学校



▲水をかくのは大変でした

胸にいっぱい思い出を詰めた自然学校でした。

く力をあわせ やりぬく力 仲間と共に 高めよう、を、合い言葉に、5年生58人は、自然学校に出発しました。 あいにくの台風14号の接近のため、前半は青年の家での活動が多くなりましたが、ゲーム大会などを通してリーダーと仲良くなり、仲間との団結も強くなりました。後半は、天気も回復しディスクゴルフ、ウォークラリー、バスハイクでのB&G、ファームパークと淡路島の自然と十分に触れ合うことができました。

回すと色がつくコマを作ったよ

播磨西小学校



▲どんなコマができるかな



黒色だけで模様を書いて、コマを作ると、白と黒だけの表面に色がついて見えるという不思議なコマ作り挑戦してみました。 もの作りをしていく中で、不思議に出会い、理科への興味関心を育てていきたいのです。喜んでもの作りができる3年生の子どもたち。手を動かしながら、「白と黒だけの模様なのに、なんで色がついて見えるのかな」とか、「回してみたら、思っていたのと全然違う模様になった」など、コマの回転する不思議に興味を持ち、楽しく学習することができました。

がんばったよ!! 北っ子自然学校

播磨北小学校



▲いっただっきまあ〜す



9月5日(月)から10日(土)まで5年生は、南淡路の「国立淡路青年の家」へ自然学校に行きました。

台風14号の影響で、初日と2日目は外での活動ができませんでしたが、3日目には、B&G海洋センターで、楽しみにしていたカヌーやヨットなどに乗ることができました。淡路島牧場での乳搾りや、ディスクゴルフ、野外炊飯、魚釣りや砂の造形、キャンプファイヤーなど、楽しい思い出がいっぱいできました。

自然学校

播磨小学校



▲みんなで作るぞー

播磨小学校5年生は、9月5日(月)から10日(土)まで淡路に5泊6日の自然学校に行ってきました。 夏休み前から子どもたちは自然学校への準備、計画と自然学校への期待がドキドキでした。 初日と2日目、台風14号の影響でいくつかのプログラムの変更もありましたが、友達やリーダーたちと生き生きと活動できました。バルーンアートやパン・ソーセージ作り、みんなの協力で完成した砂の造形、南淡中学校郷土芸能部の皆さんとの交流、最後の夜のキャンプファイアの火は仲間の素晴らしい、家族への感謝、5泊6日の数々の思い出と共に一人ひとりの胸でいつまでも燃え続けることでしょう。

完全燃焼...体育大会

播磨中学校



▲カーッコイイ!

燃焼でフィナーレを迎えましたが、3年男子のダンス、大きな歓声が上がる3年男子の組体操。完全燃焼でフィナーレを迎え

”走れ! 走れ! 精いっぱい! 光の如く駆けぬけろ!”をスローガンに、全校生が燃えた2週間。 各団が工夫をこらして製作した団旗のもと、団長を先頭に堂々とした誇らしげな行進から始まった第59回体育大会。各団対抗綱引き、光る汗が印象的だった全員リレー、一糸乱れぬぬ迫に満ちた応援合戦、ダンス委員を中心にして自分たちで創り上げた3年男子のダンス、大きな歓声が上がった3年男子の組体操。完全燃焼でフィナーレを迎え



『体育祭』

播磨南高等学校



▲胸を張って行進

9月9日(金) は朝から天候にも恵まれ素

晴らしいコンディションの中で体育祭を開催することが出来ました。 クラスの代表選手がクラスの威信を賭けて、正々堂々競い合いました。 また、『OH NAWANAWA』ではクラス全員がひとつとなり、クラスの結束力をアピールしました。 その後のPTA・来賓参加競技では、多くの保護者の方に加えて、教育実習にいられていた先生方の参加もあり、大いに盛り上がりました。 今回の体育祭総合優勝は、3年4組が勝ち取りました。しかし、ほかのクラスも優勝は出来なかったものの、大いに健闘しました。

その日は生徒の熱気も集まって暑い日でしたが、全員が持てる限りの力を出し切り、無事成功に終わらせることが出来たと、とてもうれしく思いました。



ようこそ母校へ・先輩に学ぶ

蓮池小学校



不屈の気持ちで頑張ってきたからこそ、今があることなど。夢を夢と終わらせないうめ、くじけず、強い精神力で努力し続けること。それは、誰にでも実現可能であることを子どもたちに教えてくれました。



2学期始業式。今夏の世界陸上でマラソンに出場し、団体に金メダルを獲得した奥谷巨選手を母校に迎えました。今や蓮池小だけでなく、郷土の誇り。子どもたちは興味津々、目を輝かせて迎え、いろいろ質問。奥谷選手は、どの子の質問にも笑顔でいねいに答えてくれました。お話によると、きっかけは小さいころ体が弱く、マラソンを始めたこと。なかなかタイムが上がらず、もう走るのをやめようかと思ったこと。しかし、不とうた。お話によると、きっかけは小さいころ体が弱く、マラソンを始めたこと。なかなかタイムが上がらず、もう走るのをやめようかと思ったこと。しかし、不とうた。お話によると、きっかけは小さいころ体が弱く、マラソンを始めたこと。なかなかタイムが上がらず、もう走るのをやめようかと思ったこと。しかし、不とうた。

第27回体育大会

播磨南中学校



▲気合いを入れるぞ



うな暑さもやっとなまりだした9月17日(土)、第27回体育大会が盛大に行われました。『母なる大地を駆け抜けろ 我らの熱き南中魂!!』のテーマのもとで、1年から3年までの兄弟学級を基本とした4つの団が、しのぎを削りました。 毎日練習を重ねてきた学年演技のム力デ競争・応援合戦・体育演技の男子全員による組体操・3年生女子によるダンスをはじめ、取り組みの成果が出た完成度の高い体育大会になりました。

また、来年の兵庫国体に向けての1・2年女子による「はばタンダンス」は、マスコットの「はばタン」が実際に登場するなどの楽しい企画の中で実施されました。 ご支援いただきました保護者の皆さま、地域の方々、本当にありがとうございました。

この号が出てきていることには、44歳のぞろ目になっていく私である。若くはないし、かといつて年老いているとも言えず、何とも中途半端な年齢である。日本男性の平均寿命は、ほぼ80歳だから人生の折り返し点は過ぎたことになる。振り返って何を成して来たのかと思うよりも、これから何が出来るのかと考える方である。

日々是好日

これまでの人生で最も勉強をしていると感じるし、学ぶことの楽しさを実感している。親に「勉強せえ」と言われていることは、聞く耳を持たなかったから余力があるのだと親や姉兄からは言われるが、結構的を得ている。学びたいという動機が明確になれば姿勢も変わるし、結果として楽しいものになるというところが、この半年で経験的に分かったことである。

い、きつと楽しいことよりも苦痛なことの方が多くなった。こんな面白くないことを何故にお父さんは好き好んでしているのだろうかと考えているかもしれないし、小学生の妹は大人のお父さんが学校に行つて勉強をしていることが、今一つ理解が出来ないようである。それでも夕食が終わると机に向かう父親を見て、何かを感じてくれていればうれしい限りである。子どもは親の背中を見て育つと言いが、どうやら読書好きはそのせいのようなのだ。ここで勉強も、欲張りなことを考える気はさらさらでない。きつと自分で匂を見つけたら、そのために「勉強しなさい」という言葉を言わずに、子育てを終えたいと願っている。

あなたに
はつたつち

リレーエッセー⑧7



田淵 勝彦さん (野添城)

趣味 人間観察、上方落語鑑賞

自己PR 福祉一色の人生は充実し、毎日、機嫌良く過ごしています。ただ1つのことを除いては…?!

保健だより

感染する前に麻疹・風疹の予防注射を受けましょう。

健康安全グループ 保健師 延安 雅子

麻疹、風疹は子どもがかかりやすい感染症です。特に麻疹は乳幼児の死亡が多かった昔は無事に成長するかどうか、命定め“といわれ、命を落とす幼い子どもがたくさんいました。近年になつても任意接種の時期を経て定期予防接種がはじまる昭和53(1978)年ごろまでは毎年大人も含めて200〜300人が亡くなっていました。

今では、上下水道の整備など衛生環境の改善、豊かな食生活や医療、予防接種の普及などにより死亡者数は数人にまで減少しています。が、重くなると肺炎や肝臓などの合併症を発生し、油断できない病気に変わりはありません。

麻疹、風疹両方の接種が済んでいるか、今一度、母子手帳を開いてご確認ください。ご不明な点があれば、保健師までご相談ください。



健康安全グループ ☎0794(35)2611

小学校で給食を食べたよ ~幼小連携~

播磨西幼稚園



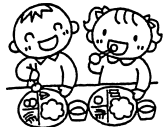
▲給食、おいしいね



「小学校で給食を食べたよ。おいしいね。幼稚園では給食がなかったから、小学校で給食を食べると、うれしいね。先生もおいしいね。給食を食べると、お腹が膨れるね。給食を食べると、お腹が膨れるね。給食を食べると、お腹が膨れるね。」



たくさん感想をいただきました。



みんなの幼稚園 きれいになったよ!

播磨幼稚園



今日は、お母さんたちと一緒に幼稚園をお掃除する《親子作業の日》です。

「ほくたちは、畑の草引き」

「私は、草を集めるね」「溝の土は、スコップでとろう」「ポタポタ汗がっぱい!」



『バツタ捕りに行ったよ!』

蓮池幼稚園



▲「つかまえた!」「もっと探そう!」

バツタはどこにいるのかな?

爽やかな秋空のもと、子どもたちの大好きなバツタ捕りに行きました。たくさんバツタがいるかなと、みんなわくわく。野添の住吉神社に着くと、バツタのいる草がいっぱい。さっそく虫かごを持って草の中に入ります。

「ふしぎ、指がピンクになったわ!」



笑顔がいっぱい

キューピット保育園



▲糸を通すのってむずかしい

本年度もあつという間に半年が過ぎ、子どもたちもすっかりクラスに馴染む姿がみられます。青空を見上げると、赤とんぼの群れが吹く秋風についてスイーっと。そのとんぼを追いかけて、遊ぶ子どもたちの笑顔はとても輝いています。保育園では、子どもたちの笑顔を大切に、親子が触れ合う「播磨協賛観日」を行いました。日ごろ忙しいお母さんたちもたくさん参加していただき、子どもたちは大喜び。タオルを使った小さな「ワンピース手拭き」を作りました。手縫いやかき編みが初めてのお母さんも多く、慣れない手つきに心配そうに見ている子ども。針に糸を真剣に通す親子の姿がほほえましく、思い出がさらに深まった参観日になりました。出来上がりはともかく、苦労して作ったかわいい「ワンピースの手拭き」は、台所や洗面所で大活躍し、親子の会話に花が咲いたことでしょう。

交通安全をおねがいします。 播磨小学校児童が街頭啓発

9月26日(月)、朝の通勤客が行き交う播磨町駅で、播磨小学校の児童10人が、秋の交通安全運動の一環として街頭キャンペーンを行いました。かっこいい制服に身を包み、「おはようございます」と声を掛けながらポケットティッシュを配り、一生懸命に交通マナーの向上をお願いしました。



▲交通事故のないまちがいいなあ

播磨町住民の皆さんの文化活動を支えます NPO法人文化クラブ21 はりま設立総会

9月24日(土)、中央公民館において「NPO法人文化クラブ21はりま」の設立総会が開催されました。同NPO法人は、中央公民館を中心に、文化をテーマに各種団体の交流、活動、支援などの事業を行うとともに、情報の収集、発信に努め、地域のすべての人々が文化によって癒され、支えあうことのできるまちづくりを目指します。



▲まちに豊かな文化と芸術活動を

叙勲 瑞宝双光章に 故八木昌之氏

故八木昌之氏(68歳・古宮)が、消防功労により叙勲瑞宝双光章を授与されました。八木氏は、これまで播磨町消防団長・加古郡消防協会会長などを務められました。



▲故八木昌之氏
(平成16年3月撮影)

地域の文化交流の場に 播磨・県民交流広場協議会発足

8月24日(水)に、町内の文化協会、美術協会、文化クラブ21はりま、文化ネットワークはりま塾、青年協会、自治会連合会、連合婦人会、老人クラブなどからなる「播磨・県民交流広場協議会」が発足しました。この協議会は、平成17年度県民交流広場モデル事業として、兵庫県助成により整備されたものです。主な目的は、各種団体の交流、活動、支援などの事業を行うこととし、情報交換の場として、中央公民館の1室を開放し、常に交流の場として活用いただけるというものです。

絶滅危惧種のオニバスが大発生

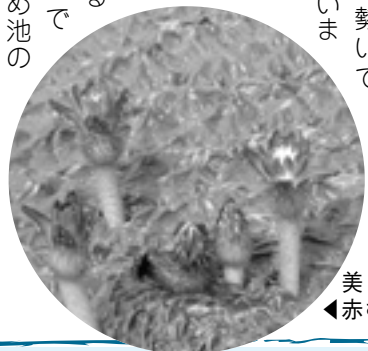
古宮水利組合と西二見水利組合が管理している末々池(明石市西二見)に、「見慣れない巨大な葉を広げるハスのような植物がある」と、古宮水利組合の福寿俊明さんから生涯学習グループに連絡があり、スイレン科の水生植物「オニバス」と確認しました。

オニバスという名前の通り葉の表裏や茎などに鋭いトゲが生えていて、直径約1.5mの葉が、水面の約80%を埋



▲巨大な葉が密生する末々池
(向こう側は播磨南高校)

め尽くす勢いで密生しています。全国的に絶滅危惧種に位置している希少植物ですが、ため池の多い東播磨ではいくつかの池で見ることができず。春に種から発芽して初秋に結実して種を作り、冬には消えてしまふ一年草です。しかし、同じ池で毎年見られるわけではなく、突然大発生したり消滅したりするなど、生態がはっきりしていない植物でもあります。また、来年の夏に見られるかもしれません。



美しい
赤むらさきの花

ニュージールランドから来た小川 怜君 「SC播磨で友達が出来たよ」

小川怜君は2歳からニュージールランドで暮らしています。ニュージールランドでは9月から新学年に進級します。下では9月から新学年に進級します。



▲後列左から2番目が小川君
を利用している9月16日(金)から3週間の予定で来日しました。明石市にある母方の実家に滞在する間、日

本の同世代の小学生たちと一緒にサッカーを楽しむために、インターネットで見つけたSC播磨に参加しました。今まで練習に2回参加し、今回初めて練習試合にも参加しました。「ニュージールランドでサッカーをしているので日本でもできてうれしい。このチームはとても楽しいし、友達が出来たのでよかった。日本人のほうが上手だと思った」と、小川君とチームメイトたちはサッカーを通して、言葉を超えた交流を楽しみました。

祝！ 内藤みなみさん 全日本中学校バレーボール選手権大会準優勝

播磨ジュニアOBの内藤みなみさん(大阪国際大和田中学校3年)が、8月25日(日)に三重県伊勢市で開かれた第35回全日本中学校バレーボール選手権大会に出場しました。

苦しい展開となった準決勝で、ジュニアに持ち込み、内藤さんの3連続得点でチームを決勝に導くなど、エースとして大活躍をしました。

「播磨ジュニアで羽納コーチや長尾コーチに基本を指導していただいたおかげで、今の私があります。すっくと、恵まれた環境でバレーボールができる



▲後列中央が内藤さん

ことは、監督はじめかかわってくれた保護者の方々やチームメイトの皆さんのおかげだと感謝しています。これから目標を高く持ち、頑張ります」と、メッセージを届けたくれました。

わんぱくはりまっ子



ゆうき 勇希くん(1さい)
北本荘 茂籠

いつも元気な勇希君 これからもずっと元気でいてね。(パパ、ママより)



このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(未就学児) 広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらってもけっこうです。

楽屋裏

秋晴れの気持ちよよいお天気が続いています。皆さんいかがお過ごしですか。スポーツ、読書、食欲...と、どんな秋を満喫されていますか。私は何か運動したいなあと思いつつもなかなか...です。先月号でもお知らせしましたが、10月から役場の組織が変わっています。〇〇課から〇〇グループとなり、場所も変わっているところもあります。ので、役場にお越しの際はご注意ください。わかりやすく、迅速に対応できる組織を目指し、皆さんと一緒に自分たちのまちについて考え、まちづくりをすすめていけたらなと思っています。